大豆情報　第２号

令和７年５月 23 日
射水市農業技術者協議会

「適期・的確な除草剤散布と２回培土」で雑草を防除！

１　播種後処理除草剤の注意点

・播種後、速やかに散布する。
・大豆は露出しないように覆土する。
・散布直後に多量の降雨があると、薬害が生じる（右写真）恐れがあるため、**天候を見極めて出芽前までに散布**する。

薬　剤　名	10aあたり散布量	
プロールプラス乳剤	400～600mℓ	水 100ℓ
ラクサー乳剤	400～800mℓ	
ラクサー粒剤	4～8kg	

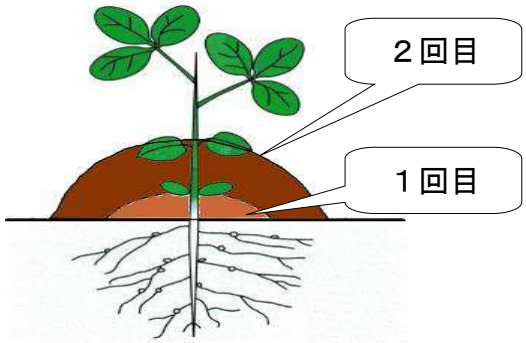
有効成分リニュロンの薬害（発芽不良）

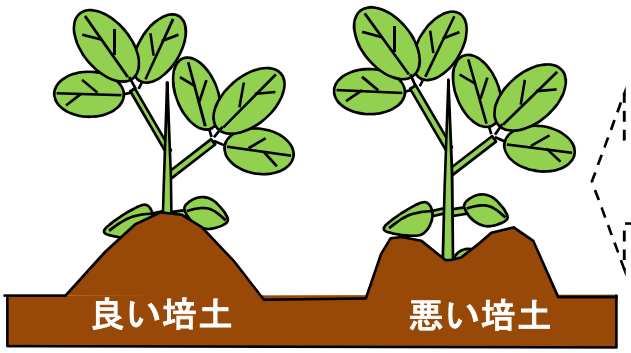
２　培土

・梅雨の晴れ間を利用して培土を２回実施し、雑草防除を徹底する。

＜培土作業の目安＞

	時期	高さ
1回目	本葉2～3葉期（播種後20～25日頃）	子葉が埋まる程度
2回目	本葉4～5葉期（播種後30～35日頃）	初生葉が埋まる程度





培土は株元までしっかりとかける

株元に凹みのあるM字型培土は ✕

× 凹みに水がたまり、湿害や病害が発生しやすい
× 新根が伸びず、生育不良となる
× 株間に発生する雑草を抑制できない
× 倒伏しやすく、コンバイン収穫が困難となる

３　溝の手直し

・培土でできた溝は、速やかに額縁排水溝と深く掘り下げた排水口に連結する。
・降雨後は圃場を巡回し、**水がたまっていないか必ず確認**し、溝の手直しを行う。

適切な播種作業で目標栽植本数を確保！

【お問合わせ先】
JAいみず野営農指導課　TEL52-6805　　高岡農林振興センター農業普及課射水班　TEL26-8478
JA いみず野ホームページ　http://www.ja-imizuno.or.jp/